

滑川市 防災マップ

滑川東・滑川西地区

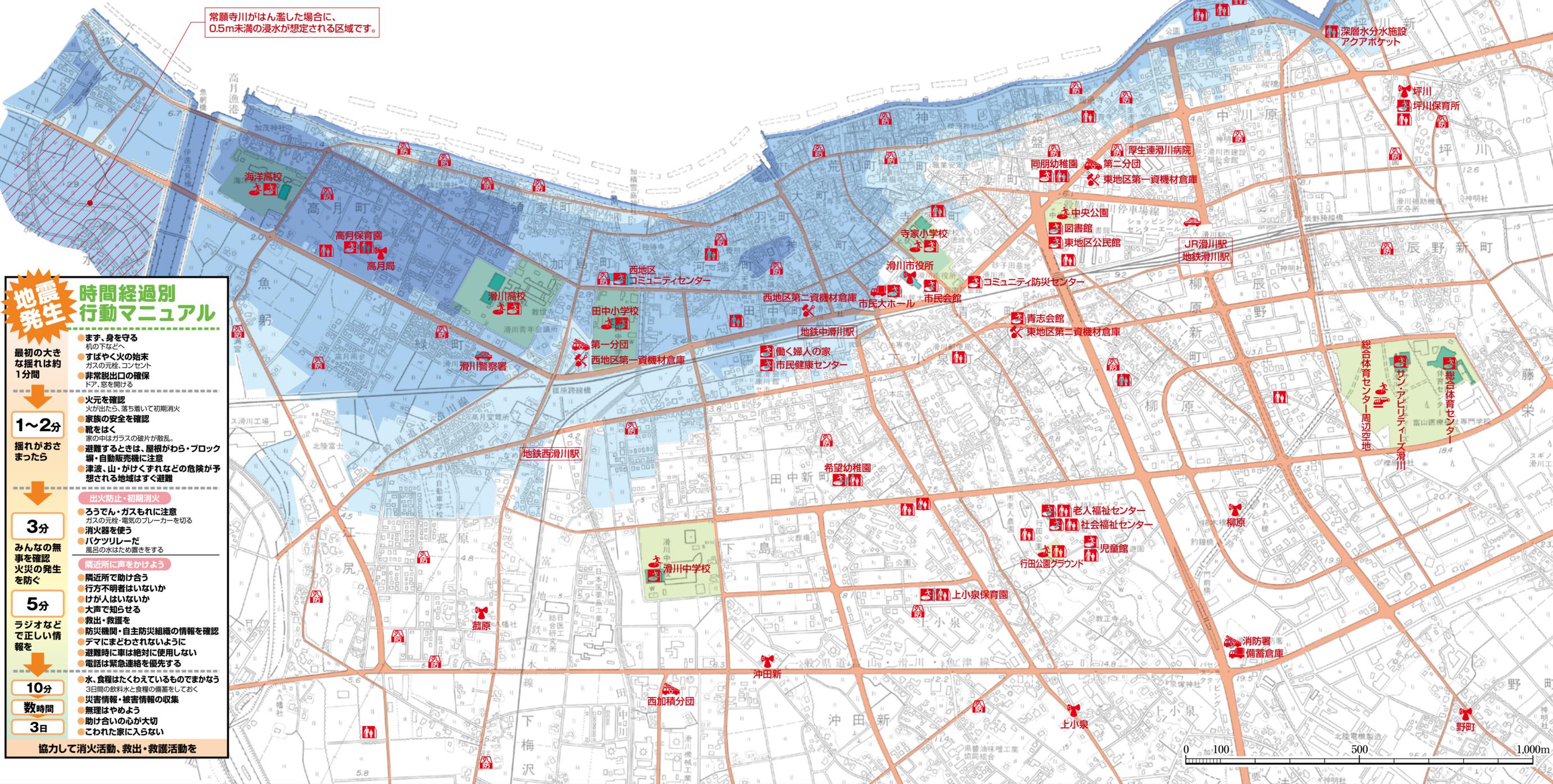
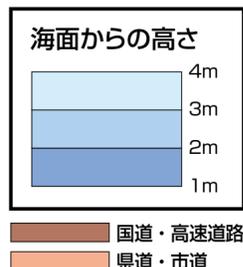
家族や自主防災会・町内会で話し合っ決めた避難場所等を書いておきましょう。

私たちの一時避難場所*は	※一時避難場所とは災害発生時に、少しでも安全な公共の場所に避難し、自主防災会・町内会において安否確認や初期消火、応急・救護活動などの自主防災活動を実施するための組織化を図る場所です。
私たちの避難場所は	
私たちの避難施設は	

凡例		
マーク	名称	説明
	市指定避難場所	災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、危険を回避するための場所です。
	市指定避難施設	災害によって被害を受け、又は受けるおそれがある場合に、応急生活をする場所です。

	消防署・消防団	●火災・救急は 119 へ ●火災・救急のお問い合わせは 475-9999 へ
	警察署・交番 駐在所	●事件・事故は 110 へ ●その他のお問い合わせは 475-0110 へ
	コミュニティ 防災資機材倉庫	災害発生時に利用できる防災資機材が保管されています。
	防災行政無線	災害発生時には、市役所・消防署から情報をお知らせします。

	防火水槽	お近くの防火水槽を日頃から確認しておきましょう。
	災害弱者施設	保育所・幼稚園、社会福祉施設、観光施設など、災害発生時の避難が不自由な方が利用する施設です。
	災害物資輸送拠点 集積場所	災害発生時の緊急物資の輸送・集積拠点です。
	臨時ヘリポート	災害時には負傷者の搬送や緊急物資の輸送拠点となります。



地震発生 時間経過別 行動マニュアル

最初の大きな揺れは約1分間

1~2分 揺れがおさまったら

3分 みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

5分 ラジオなどで正しい情報を

10分 数時間

3日

協力して消火活動、救出・救護活動を

- まず、身を守る
 - 初の下などへ
 - すばやく火の始末
 - ガスの元栓・コンセント
 - 非常脱出口の確保
 - ドア、窓を開ける
- 火元を確認
 - 火が出たら、落ちて初期消火
 - 家族の安全を確認
 - 靴をはく
 - 家の中はガラスの破片が散乱。
 - 避難するときは、屋根がわら・ブロック
 - 標・自動販売機に注意
 - 津波、山・がけくずれなどの危険が予想される地域は必ず避難
- 出火防止・初期消火
 - ろうでん・ガスものに注意
 - ガスの元栓・電気のブレーカーを切る
 - 消火器を使う
 - バケツリレーだ
 - 風呂の水はため置きをする
- 隣近所に声をかけよう
 - 隣近所で助け合う
 - 行方不明者はいないか
 - けが人はいないか
 - 大声で知らせる
 - 救出・救護を
 - 防災機関・自主防災組織の情報を確認
 - テマにまどわされないように
 - 避難時に車は絶対に使用しない
 - 電話は緊急連絡を優先する
- 水、食糧はたくわえているものでまかなう
 - 3日間の飲料水と食糧の備蓄をしておく
 - 災害情報・被害情報の収集
 - 無理はやめよう
 - 助け合いの心が大切
 - こわれた家に入らない